

シニア交流ダーツ大会

11月21日(日)、区立中学校体育館を会場にして行われた「シニア交流ダーツ大会」に、スタッフとして参加しました。
今回は、**多くの中高生がスタッフとして参加**。例年ですと、私は会場設営やスコアラーとして従事する作業が結構ありますが、今回は中学生が受付や会場設営等、高校生がスコアラーとして活躍してくれましたので、私自身は「いかに中高生がスムーズに活動できるか」という視点で対応しました。



シニアの大会を中高生がスタッフとして手伝う、という得難い場に参加することが出来ました。
多くの関係者間を調整して、こうした“**つながりの場**”を創られた主催者の方々に敬意を表するとともに、私自身、シニアの方々に楽しんでいただきながら、中高生の貴重な経験の機会となるよう、“**より良いサポートの仕方**”を今後も工夫していきたいと思います。



ゲストティーチャー

今年度も、9月から10月にかけて計2回、**小学校運動会での表現種目**における「**ゲストティーチャー**」として、**授業に参加**しました。
今回の対象も、昨年度に引き続き小学5年生で、児童数は約80人。
新型コロナウイルス感染症対策下という制約された環境の中で、皆一生懸命がんばってくれました。



運動会当日、私は今回も「かけ声」で参加しましたが、子供達は素晴らしい演技だったと思います。
小学校運動会の表現種目にゲストティーチャーとして関わるのは、平成16年からになります。普段から「小学校放課後子ども教室」で小学生とは接していますが、**授業を通して様々な子供達と直に触れ合うことができ、学校現場の様子も知ることができる**こうした機会は、今後も積極的に関わっていきたいと思います。

公園ワークショップ

11月28日(日)及び12月12日(日)、「富士見丘北公園の拡張整備を考えるワークショップ」に見学参加しました。ワークショップメンバーは、事前に応募された24名。初回(11/28)は4グループにわかれて「**こんな公園にしたい**」を話し合い、2回目(12/12)はグループ毎に**配置案**が話し合われました(ともに、各グループの話し合いの結果を、最後に全メンバーに対して発表)。

今後は、1月及び2月に各1回開催される予定です。可能な限り、**ワークショップの様子を自身の目で見て**、拡張整備後の公園供用まで関わっていききたいと思います。



富士見丘北公園



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第73号(令和4年新年号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX: 03-3247-8660 E-Mail: ikuma@gakushikai.jp
HP: http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
令和元年5月より5期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(18歳)、長女(16歳)、次男(14歳)。

P.1 新型コロナウイルス感染症対策補正予算
(第6号～第13号)の全体像
P.2 補正予算(第6号～第9号)

P.3 補正予算(第10号～第13号)
P.4 調査活動／地域での活動

夏以降、114億円強の補正予算

～ 杉並区の新型コロナウイルス感染症対策 ～

区政報告第71号において、令和3年3月～6月における、杉並区の新型コロナウイルス感染症対策補正予算(令和3年度)についてご報告いたしました。今号では、**7月以降の補正予算**についてご報告いたします。
* 区政報告第71号をご希望の方は、岩田いくま までご連絡ください。

議決日	補正予算	コロナ関連予算額 ^(※1)	盛り込まれた事業の例 ^(※2)
7月7日	一般会計(第6号)	8億4,441万6千円	接種時間延長 等に伴うワクチン集団接種会場管理運営委託費
9月24日	一般会計(第7号)	24億9,581万4千円	開設期間延長 に伴うワクチン集団接種会場管理運営委託費
	一般会計(第8号)	1億4,007万5千円	自宅療養者支援ステーション 運用経費
11月5日	一般会計(第9号)	8億2,588万4千円	コロナ第6波 への備え
12月3日	一般会計(第10号)	15億4,818万5千円	ワクチン3回目接種 に向けた集団接種会場管理運営委託費等
	一般会計(第11号)	29億4,551万3千円	子育て世帯への臨時特別給付金 支給 5歳～11歳のワクチン接種 経費
	一般会計(第12号)	1,851万1千円	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給
12月20日	一般会計(第13号)	26億3,934万7千円	子育て世帯への臨時特別給付金一括支給 のための追加経費

(※1)各補正予算総額のうち、新型コロナウイルス感染症対策関連を抜粋。

(※2)各補正予算における事業の詳細は、2ページ以降でご報告しております。

次回の定例区議会(令和4年第1回定例会)は、2月9日(水)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX: 03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp



これらの補正予算は、「**非常時の財政出動**」であり、**区民の方々の生命・生活を守るため、緊急性・必要性から私も全て賛成**しました。
引き続き、国・都の動きにも留意しながら、杉並区として必要な施策かどうか、また、不足している施策はないか、しっかり考えて対応していきたいと思います。

補正予算(第6号)：7月7日議決

- ワクチン接種の促進に向け、集団接種会場の増設(旧永福図書館)の他、一部の集団接種会場における、
- 接種実施時間の延長(15:40まで → 19:40まで)
- 接種実施曜日の拡大が盛り込まれました。

主な事業	予算額
接種時間延長 等に伴うワクチン集団接種会場管理運営委託費	8億4,441万6千円



補正予算(第6号)は、64歳以下の区民の方々に対して、**希望する方の接種をより早く完了するための補正予算**となりました。この時期は、「ワクチンを早く打ちたい」というニーズに応えることが求められており、適切な補正予算であると判断しております。



補正予算(第7号及び第8号)：9月24日議決

国からのワクチン供給量が減少した時期であり、当初予定していた接種計画を延長する必要が生じました。

第5波により感染者が大幅に増加したことに対応し、入院及び移送の追加経費が盛り込まれました。また、本来入院又は宿泊療養すべき症例であっても、やむなく自宅療養となっている方が、杉並区でも1千人を超えた日もありました。こうしたことから、自宅療養者支援ステーションを設置することとし、その関連経費が盛り込まれました。

第7号：主な事業	予算額
開設期間延長 に伴うワクチン集団接種会場管理運営委託費	13億1,614万1千円
感染者の大幅増加 による入院患者搬送委託費、公費負担医療費の追加経費	4億3,884万8千円
第8号：主な事業	予算額
自宅療養者支援ステーション 運用経費	7,723万3千円
業務継続のための福祉施設等従事者へのPCR検査	2,885万8千円

自宅療養者支援ステーションは、9月1日から設置するために、整備にあたって緊急に必要な経費は令和3年度当初予算の予備費から支出し、今後必要とされる経費について、補正予算に盛り込まれました。

ワクチン供給は国、医療提供体制は都が本来責任を持つ施策であり、区が“振り回されている”面は率直に感じますが、**区民の方々の生命・生活を守るために**必要な補正予算であると判断しております。

補正予算(第9号)：11月5日議決

- 第6波への備えとして、
 - 電話及び相談員の追加等、受診相談体制の拡充
 - 陽性患者管理システムの導入による、患者情報管理体制の強化
 - **中和抗体投与ステーション設置**
- 等の経費が盛り込まれました。

主な事業	予算額
コロナ第6波 への備え	7億4,101万1千円
ワクチン3回目接種 用接種券印刷・送付等経費	7,064万1千円



補正予算(第9号)は、**コロナ第6波に備えた保健所体制・医療体制の強化**に要する経費や、ワクチン3回目接種に向けた経費が盛り込まれました。今後の感染拡大も想定した場合、必要な予算であると判断しております。



補正予算(第10号～第12号)：12月3日議決

- ワクチン3回目接種に向け、
 - 集団接種会場管理運営委託費
 - コールセンター委託費
 - **75歳以上の高齢者を対象に、予約負担を軽減するための接種会場・日時指定**に係る作業経費
 - 障害者施設及び高齢者施設への巡回接種委託経費
- 等が盛り込まれました。

第10号：主な事業	予算額
ワクチン3回目接種 に向けた集団接種会場管理運営委託費等	15億4,818万5千円
第11号：主な事業	予算額
子育て世帯への臨時特別給付金 支給	26億1,286万6千円
5歳～11歳のワクチン接種 経費	3億3,264万7千円
第12号：主な事業	予算額
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給	1,851万1千円

国の政策に連動し、第11号では、

- 子育て世帯への臨時特別給付金支給に要する給付費及び給付事務に要する経費
- 5歳～11歳のワクチン接種に向けた集団接種会場管理運営委託費、接種券印刷・送付経費等

が盛り込まれました。

また、第12号では、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金制度の申請期限が令和4年3月末まで延長されたことに伴う業務委託費の追加が盛り込まれました。



いずれも国の政策に連動したものであることから、必要な補正予算であると判断しております。なお、ワクチン3回目接種までの間隔や小児用ワクチンの国からの提供時期・量等、不確定要素が大きい中での補正予算編成が未だ強いられ、区政にかかわる一人としては、**国による適切な情報提供がなければ現場が混乱することを、非常に危惧**しております。

補正予算(第13号)：12月20日議決

- 子育て世帯への臨時特別給付金先行支給(5万円)については補正第11号で既に議決しておりましたが、**国の方針変更を受け、10万円一括支給を行うための給付費等の経費**が盛り込まれました。

主な事業	予算額
子育て世帯への臨時特別給付金一括支給 のための追加経費	25億9,490万9千円
CO2モニター 購入・配送費	4,443万8千円



国の方針変更に伴い、杉並区でも、子育て世帯への臨時特別給付金は、10万円を一括支給することとなりました。区として必要な補正予算ではありますが、国の“迷走”に自治体の実務が振り回されている典型例だと感じています。なお、**CO2モニターの設置箇所の増強については、令和3年10月に行われた決算特別委員会の質疑で「エアロゾル空気感染対策」として検討を求めている(区政報告第72号参照)、第6波対策として早々に実現**したことは、良かったと思っております。

- 第6波への対策の一環として、飲食店等で適切に換気を行うことができるよう、CO2モニター(二酸化炭素濃度測定器)を
 - 区内飲食店(約4,300台)
 - 区立施設(669台)
- に配布する経費が盛り込まれました。



昨年の決算特別委員会での質疑の様子